

刊夕 日十月九

常磐每日新聞

定額一圓五錢 零售五分
 廣告料五號十 掛一金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 發行所 常磐每日新聞社
 印刷所 常磐每日新聞株式會社

感謝の氣持 (三)

K K 生

世の中では、子を持つて知る親の恩といふが、如何にも親の恩は子が出来て子の爲めに苦しみ盡して初めて本當の處が判るとはいへる。併し又、子を持つて知る子の恩といふこともあるのを、感せずには居られない。親となり親として子に盡すことは、實に其子の爲めのみではなく、親としての自らの爲めである。親として子を愛せざるを得ざるの氣持、子の爲めには何物をも犠牲として辭せざる氣持、己れの爲めよりも多くの子の爲めにしたがいやうな氣持、これこそは人が持つ純眞なる本能であり、随つて親が子の爲めに盡すは全く自己満足の外何物でもなく、つまり自分自身の爲めである。若も人にして全く子なしとせば如何に淋しいであらうか。如何に

ノート
 牛蒡のアクぬきは酢を少し置くと十分間つけて

物足りなさを感ずることであらうか。子は親にとりて

は最愛の對象であり、親の生命の一部を成す。私自ら昨年、三兒の中の一人を亡つた。其時には私の生命の一部を削られたやうな氣持

明日の献立

【朝】味噌汁—ねぎ 小付 やきのり

【晝】なまりぶし 大根をろし

【晚】清汁—金魚狀 茗荷 野菜せん玉子寄燒き

であつた。今更らながらにも子の我れに取りての有難さを知り、尙ほ生き残りたる子供達に對しては、自らの力にて出來得るだけの事は、我身をつめてもしてやりたいといふ氣持を有つ。



俳句

をがはら木鳥

鯉釣や夕せまり來し水の
 色 萱ぶさの一軒灯し山暮る
 釣人の蘆に埋もる秋の川
 食む栗につきぬ話題や夜
 長し から〜と井戸くる音や

秋はる、起されて夢の汗よく炬燵かな

から〜と落葉のはしる寒さかな

ほすゝきを映して川のなごみかな

案山子立つ里となりけり落し水

地に伏して雨のあがりの萩の花

空迄は今一寸なり秋の富士

夕鴉秋を深めて歸りけり夕鐘にゆれて散り來る木の葉かな

歸り來て旅の疲れや葉鶏頭

葉落ちて我家の庭のひろさかな

鎌先で雀を追ふや日はうらら

凧やあひあひ遠し瀧の音秋立ちて水面にうつる月寒し

詩 逝きし友 田中らどり

色づきし梧桐の葉落つ傷ましくも

昨夜の雨にあゝ友は逝きぬ若くして……

微かに呼べば答ふる如く泣く如し木の葉はさゆれ露は零れぬ

有給事務員數名集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
 一、固定給の外旅費支給す
 御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ
 (明治十四年創立)
 明治生命保險株式會社
 平 事務所
 平・仲町

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します
 平田町九六
 喜多流 謠曲 仕舞 白土會
 詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

内科

川井内科診療所
 川井安子
 平町(電話二四三番)

電話六四〇番

皆様のタクシーへ
 此度は見るからに乘心地よい色彩のニ
 ーアクション式新車が入車致しました
 自動車の御用命はチリンチリン六四〇
 番を御呼び下さる皆様を新車と共に従
 業員一同御待ち申して居ります。新車
 も揃ひましたから遠乗の御用には特に
 御相談に應じます。

尼子タクシー

電話六四〇番

石炭
 コークス
 炭
 平驛前



阿部石炭商店
 電話三七番

時計 蓄音器 レコード 眼鏡類 懐中電燈
 高橋時計店
 平町搔樋小路

かつを
 塩から



魚問屋
 最優最大日本生命平代理店
 志賀盛榮
 平四丁目(電一二三)

月曜是非

流行歌と兒童

此程平第一小學校に於いて尋常六年生二百餘名に對し、最近流行の歌謡や俗曲の調査を行つた結果、一つや二つ唄へぬ生徒は殆んどない事が判明した。

歌謡や俗曲は、蓄音機から街頭に溢れ、ラヂオのスピーカーからも流れる、家族の者や雇人等も口吟むであらうし、映畫館や其他からも耳にするであらう、従つて本來感受性の強い子供達が、イツとは知らず聴き覺えに覺え込むのも無理はない。

しかし彼等としては歌曲の面白さに惹かれて歌ふのであつて、歌詞の意味等はハッキリと解つて居ないのであるから、大人が心配する程の悪影響があるとは思はれない。

ただ、子供等が無意識に口吟む間には、唄其のものゝ醸し出す気分なり、感情なりが、彼等の軟弱な頭腦に滲透して、遂にはその影響に支配される事もあり得る場合を豫想されるから、吾人は夫れを惶れる、と云つて、彼等を入跡稀れな仙境にでも閉じ込めて教育を施すのでない限りは、不斷に襲來する歌曲の洪水禍から「聞き覚え」の難を免れしむる事は出来ぬであらう。故に此對策として、學校當局に注文するのは、興味の一つである唱歌課の振興

を圖る事にある。即ち學校で教へる唱歌なり童謡なりに依つて流行歌や俗曲を打ち負かす事である、學校で教へる歌が彼等の

の興味を中心である時は、絶対に流行歌や俗曲を口にするのばせぬ事になるであらう要するに此の問題は學校で教へる歌と、社會から學ぶ

歌との何れが兒童に對して多くの魅力を持つ力に依つて決せらるゝ問題であり、茲に當局者の反省と、家庭の留意を望む次第である

平小鐵道敷設

政府の具體的腹案

來年度から四ヶ年計劃

小名濱の齊らした情報

力を得て運動

石城地方多年の懸案である平小鐵道の實現を期して平町では既報の如く小名濱町と呼應運動を開始する事になつたが過般平町に先立つて上京主務省に

陳情した。小名濱町より平町當局に寄せた情報に依れば主務省の次官、參與官等もその設置の必要を認め地元の期待に沿ふ様努力することを誓ひ早くも同鐵道建設豫算として百十四萬三千圓を計上、明十年度より四ヶ年

繼續工事として目論みを樹て十年度は先づ基礎工事として豫算三萬圓、十一年度は三十萬圓、十二年、十三年度にそれ〴〵四十萬圓、四十一萬圓三千圓を投じて完成せんとする腹案ありといふ極めて有力な言質を得たので來るべき議會に

是非とも この案を

過さすべく地元平町及び小名濱町では金成上院議員、比佐、鈴木の兩代議士の應援を得て積極的運動に乗出すことになつた

運動方法

平町では平小鐵道促進陳情

實業公民學校を

例年通りに開設

教員總會

昨日第一校で

平商業學校内に冬期間のみ開設する實業公民學校は例年通り今年も來る十月一日より授業を開始する事になり來る十五日より生徒を募集するが修業年限は前期後期を併せ四ヶ年課目は修身、國語、算術、歴史、球算、商業、簿記、英語、体操、教練等で特別商業科に主力を注ぐ由

昨日第一校で 郡下小學校教員の總集會は既報の如く昨日午前十時より平第一小學校講堂に於て古川縣視學臨席の下に開會西山副會長の開會の辭、國語、算術、歴史、球算、商業、簿記、英語、体操、教練等で特別商業科に主力を注ぐ由

役員選挙に次ぎ篠山平第一校長の全國小學校教員代表者御親臨並に全國小學校教員精神作興大會の狀況報告、成田内郷第一校長の全國聯合小學校教員會の狀況報告等終つて各會員の研究發表あり二時間餘に亘る東京官學校校長秋葉馬治氏の「哲學と教育」と題する講演等あつて午後三時閉會した因に新任された役員は左の如くである

第二繼走練習 昨年磐女主催の郡下各小學校女生徒四百米繼走に一分〇秒五の新記録を以つて優勝した平第二小學校では本年も一ヶ月後に迫つたので連勝の意氣込みで早くも保訓導コーナの下に猛練習を開始した

各分團對抗野球

昨日雨中の奪戰

既報平青年團主催各分團對抗式野球大會は昨日午前八時より平南、平第三兩球場に於て舉行各分團共必勝を期し奪戰したが遂に胡摩澤、三丁目、二丁目、古研の四チームが勝ち來る十五日午前八時より平南、第一兩球場に於て弱を争ふ事になつた。因に戦績は左の如く優勝候補と目されてゐた長橋分團は出場時間に遅刻した理由に依つてオミットされた

▲平南球場 (第一回戰) 研古 14 — 0 紺屋町 城山 4 — 0 一丁目 二丁目 10 — 1 廿八區 (二回戰) 二丁目 1 — 0 川町

▲第三球場 (第一回戰) 三丁目 6A — 4 十六區 南町 5 — 9 五丁目 (二回戰) 胡摩澤 13 — 2 材木町 三丁目 4A — 1 五丁目

籠球大會

平第一に開く 石城郡第三區(平町外十五校)小學校兒童の籠球大會は昨日の委員會により來る十一月四日平第一小學校グラウンドに於て開催される事になつた

渡邊訓導披露 平第一小學校では本日朝會の際過般着任された渡邊訓導の

新任披露式を舉行した

第二位に

磐中水泳部

昨日水高主催の下に同校プールで開催された近縣中等學校水上競技大會に出場した磐中水泳部はコンデーオン類る悪るく唯二百米平泳決勝に五年生志賀貞助君が三分七秒二の新記録を出した外目ばしい戦績なく茨城、東京、千葉、埼玉等出場十三校中總得点三十九点で第三位になつた、因に各種目に於ける戦績は左の如し

三百メートル 四着 四百米自由型 五着 同百米三着 二百米平泳 一着 同自由型 四着 同リレー 四着 八百米自由型 四着 八百米リレー 二着

營林決勝戦に 平營林署野球は既報の如く昨日双葉中學校球場に於て開催された濱三郡下營林署對抗試合に出場コンデーオン類る良く連戦連勝遂に決勝戦に入り富岡軍と對戦する事になつたが降雨の爲め中止され近く日を期し行ふ事になつた

平町人事 回出生 一丁目三三 矢口峯太郎 氏三女静さん

△北目一二 當時都山市細沼町五八鈴木謙四郎さん 二男亮さん

△南町六九 齋藤寅吉氏妻タマさん(六〇)

踊りの最中 暴徒現れ

三刑事を襲撃

関加井薬師の祭禮に 検束者六名

八日午後十時頃折柄の例大祭に雑沓を呈してゐる関加井嶽本堂前の盆踊り最中に仙臺市長町大工職橋本正義(三)は踊仲間の人を足で踏まれたのを憤慨して持合せた

約三尺の棒を揮つて

暴れ出し附近の踊子五、六名を毆打大立廻りとなつたがこの騒ぎに同山取締りの爲め出張中の平署新撰組柏木、大谷、熊田三刑事が取鎮めんと

現場に 駆け向ひ制止

せんとする時群衆の中から「刑事を疊んで了へ」と叫ぶや聲に應じた群衆は雪崩れを打つて三刑事に殺到して来たが赤井村消防組員の應援を得て解散を命

じ首謀者と見るべき前記橋本始め好間古川炭礦坑夫伊藤榮藏(三)同山田義三郎(二)同松原秀治(二)内郷村壽炭礦坑夫小林榮(二)茨城縣平潟町魚行商鈴木三太郎(三)の六名を検束目下留置取調べ中であるがこの騒ぎに赤井消防組伍長海野一郎君(三)は法被を裂か

の炭層の炭柱拂ひを断行約一日四百六十疋を出炭殆んど通常通りの出炭能率を上げてゐると

納屋から

立除かぬ男に

家宅侵入の告訴

飯野村中山字藁谷農渡邊重太郎は昨年五月借材整理の爲め家屋及ぶ宅地其他附近の畑等を競買に附し平町五丁目一六高田敏藏(三)が是れを落札したので若干の猶豫期間を定めて立退くことに協定したが其後の一年餘日を経過した去月二十六日の盆休みに高田氏が前記家屋を見廻りに行つたところ

復興祈念の 信徒續々

関加井薬師賑ふ

関加井嶽薬師復興第一年の大祭は八、九兩日に亘つて盛大に執行されたが近郷近在は勿論遠く宮城、茨城の隣縣からも同山の復興を祈念する熱烈な信徒續々参詣し平町からの汽車も自動車も超満員で人出二萬數千と稱され近年にない盛況であつた

排水悲觀

隈田川炭礦が 新坑道掘鑿か

既報一小田吉治氏個人經營に係る好間村隈田川炭礦の出水はその後四百馬力の排水ポンプを古河炭礦から借入れて鋭意作業中であるが

減水の模様更になされた更に優秀なるポンプを購入することになつたが結局新たに坑道を設けて排水する外はあまるまいと悲觀されてゐる尙ほ現在出炭状況は從來

兵營生活の歸途に

猪苗代湖畔で演習

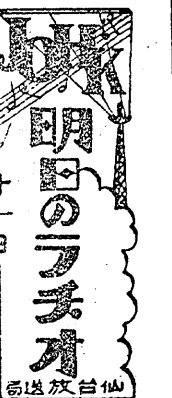
警中五年生約二百名

警中五年生約二百名は来る十八日より五日間大井川配屬將校引卒の下に若松二十九聯隊に於て兵營生活を行ひ新兵器の智識演習に勤める事になつたが歸途猪苗代湖畔翁島の磨上原に於て演習を行ふ豫定である

玉川助役紛糾

後任 助役を決定すべく八日午後

一時から招集された玉川村々會は助役後任として宮内氏を固執する一派と遠藤派とが相譲らず紛糾を極めたため遂に決定に至らず野崎村長は改めて十一日午後一時から續行する旨を宣して



明日の天気
今晩も明日も西の北の風晴曇半す

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 名作物語「一本足の兵隊」
- 東京放送児童研究會
- 後六、二五 基礎英語講座
- (一) 岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「明年度の豫算編成」
- 經濟學博士
- 重太郎の實子渡邊一郎(三)
- が物置小屋に超居して己に
- 高田氏の所有に歸した畑を
- 耕作して生活してゐること
- を發見しカンクになつた
- 高田は家宅侵入罪でけふ平
- 署に一郎を告訴した

挨拶抜きが癪で

若者等挨拶打ち

後頭部に重傷を負す

内郷村宮字町田六二無職鎌田武雄(三)及び同字大工高橋堅之助(三)の兩名は去月十五日午後七時半頃同村瀧地内村道で隣家の魚商鈴木武雄(三)が挨拶せずに通り過ぎたのを憤慨し下駄を以て全身を亂打後頭部に全治十日間の重傷を負せたこと發覺平署に檢舉された

漢法醫學聽講

平署はけふの出署日に際し午前十時から同署で赤松温古氏の「漢法醫學に就て」と題する講演を聴取した

裁判所たより

△平町鎌田町五居住仙臺市北目町生れポール箱製造業強盜前科一犯竹崎秀吉(三)の窃盜事件の公判は来る十四日午前九時より平區裁判所に於て關口判事係り吉岡檢事立會の下に開廷される

- △六、三〇 前基礎獨語講座
- (一) 岡本修助
- △前七、一〇 聖典講義「歎異抄」
- 梅原眞隆
- △前九、一〇 料理献立
- 朴
- 澤松操女學校
- 前二〇、三五 婦人美術講座
- 日本書(一)文學博士
- 齊藤隆三
- 後二〇、五〇 マンドリン合奏
- スズキ、マンドリン、アンサンブル
- 後六、〇〇 子供の時間
- 名作物語(二)「マツチ賣の娘」
- 東京放送児童研究會
- 千加士
- △後六、二五 英語講座(一)
- 峰尾郁治
- △後八、〇〇 歌謡曲
- 岩手縣釜石町 新駒定子外
- △後八、二〇 尺八「落葉」
- 上田茂徳
- △後八、三五 尺八
- 吉田晴風
- △後八、五〇 新内「名残の姿見」
- 富士松春太夫
- △後九、一〇 アッコーデイ
- オン獨奏と二重奏
- 松原千加士
- △女中 十八―三十才位迄
- 學力不問 月給三圓位
- △女中 二十才前後 高卒
- 月八圓乃至十圓
- △鍛冶工 四十以下 尋卒
- 歩合給
- △回 職を求める方
- △女工 十七才 高卒
- △家具職 三十六才 尋卒
- △事務員 二十四才 高卒
- △印刷工 二十四才 高卒
- △商店員 二十九才 高卒
- △外交販賣 十八―四十才
- 位迄 高卒 歩合
- △平職業紹介所報告
- △回 人を求める方
- △店員 三十才以下 尋卒
- 以上 月五圓位迄
- △外交販賣 十八―四十才
- 位迄 高卒 歩合

是非!

御融通には御利用下さい
萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

耳鼻咽喉科専門

平田町(電話六九一番)

山内醫院

醫學士 山内亨吉

病室完備
自炊便有

浮名新道場

田邊南龍(作) 山本芙蓉(監)

他流試合の二人
道場の窓下でいろいろな事を云つて居る、すると菊地先生の内弟子が之れを聞いて

「小川氏」
「ハイ」
「町人が道場の窓下で生先のお噂をいたして居る、我々共の悪口も致して居る」

「左様」
「何うでござらう、江田の仁兵衛の道場へ乗込んで他流試合をして、仁兵衛は腕前が好いと云ふ話でござるが、彼をば打込めば、彼の弟子は皆取る事が出来るではないか」

「そりやア田中氏、我々共で行つた處でとても仁兵衛を打ち込む事には参りませうまい」
「小川氏の前だが、大敵と見て恐れず、小敵と見て侮るなどいふ古言がある、先生に申上げずに我々共が参つて一つ瀬踏みして見やう」

「夫れも宜からう」
五人お弟子が相談をいたして田中佐平、小川政藏の兩人が行く事になつた。
「だが小川氏、當道場の門人だと云つて負けては社辱

だから旅の姿になつて、江戸表へ乗込んで来た體に致し、御道場の表を通行する

「ちやア小川氏、負けないやうに……」
「田中氏もしつかりやつて貰はなくつちやアならぬい」
「先生は未だお起きにならん様であるが、道場の御門から出ると早起きの奴もあるから近所の奴に見られてはならない、勝手元から飯焚きの作道に口止めをして



黒子

からお立寄り申したと云ひ込んで参らう、勝つたらば名乗る事にし、負けたら仕方がないから黙つて歸らう」
「黙つて歸るのは詰らないが仕方がない、夫れではさういふ事に致さう」
二人は短袴草鞋穿き、先生の供をして國々歩いて旅馴れて居る内弟子の方々だから直に仕度が出来た。

出掛けやう」
作道が之を見て「オヤ田中さんに小川さん大層お仕度をなすつて何方へお出でございます」
「静かにしろ、拙者共が斯う云ふ扮装をして出たと云ふ事は先生お覺めになつても申しちやアならないぞ」
「承知いたしました、行つてらつしやいませ」
二人は四邊を見廻して裏

手から出て、近所に知れない様にして江田の仁兵衛の道場へ他流試合に参りました、彼は十時少々過ぎる頃兩人は江田の道場の前へ来て小川政藏が
「田中氏」
「え」
「昨夜は品川に泊つて今朝江戸へ入つて来た事にしたら宜からう」
「宜しい承知した」
と云ふので江田の門を入り、道場の模様を見て玄關へかゝり
「お願ひ申す」
取次が
「ドーレ、ヤア是れは入らつしやいませ、何方からお出でにございます」
「エ、我々共は諸國武術修行の者にござる、今般上方より東海道を下向いたして昨夜は品川に一宿いたし、江戸表は初めて、當御道場を見上げまして一本のお稽古に預かり度推参仕た」

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡文庫

電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會
電話三〇七番

米國製皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮温湯

丹波博士創製セキドメ

たんぼあめ

靈藥ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿康藥舗

縣社ノ下 電話四四番

体温計の検査日です

10日 検新 機設 お宅の體温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
電話三番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八八番

醫學士 吉田 久雄

貸切の御用命は

ぜひ。三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行